

# ④ めまた 市議会だより

第49号

3月定例会

平成30年  
5月1日

## 3月定例会の主な内容

- ・P2～3 3月定例会
- ・P4～5 新年度予算が決定
- ・P6～11 一般質問

沼田公園御殿桜

# 3月定例会

2月27日、3月定例会が開会し、3月19日までの21日間、平成30年度当初予算や平成29年度補正予算、条例の制定・改正、五十嵐靖男副市長の再任人事案件など計44議案及び請願2件を審議しました。11人の議員が一般質問、14人の議員が予算質疑を行い、市当局と活発な議論を展開しました。

## 当初予算を慎重に審査

平成30年度予算関連議案14件は、議長を除く19人で構成される予算審査特別委員会に付託され、委員長に高山敏也議員、副委員長に林清史議員を選出して、3月8日から14日まで、4日間にわたり審査を行いました。

審査では、延べ14人が、141件の質疑。慎重な審査の末、いずれも原案を可決すべきものと決しました。

当初予算には、ウォーキングによる健康増進、健康寿命の延伸を推進するスマートウエルネス推進事業や、不育症治療費の一部を助成する不育症治療費助成事業、テラス沼田の整備を踏まえた乗合バス再編事業、沼田給食センターと老朽化した白沢調理場及び利根調理場を統合し、地元産米の炊きたてご飯を提供

## する給食センター整備事業、本市の優れた特産品や商品の海外販路開拓を目的とする海外販路推進事業などの新規事業が計上されるとともに、庁舎等複合施設整備事業、(仮称)利南運動広場整備事業、市民体育館整備事業などの合併特例債を活用した事業が多く計上され、これらの新規事業や合併特例債活用事業などの重要施策に関する質疑が活発に行われました。

(主な質疑は4・5ページ)  
合併特例債は、返済額の7割を国が地方交付税で負担する起債で、沼田市では平成31年度まで活用することができます。  
市の実質負担が3割になる非常に有利な起債で、市も活用していく方針ですが、借入額の増加を心配する意見も一般質問などで出されています。

## 平成29年度補正予算

昨年の人事院勧告で、月例給及び期末・勤勉手当の引き上げの見直し勧告がされ、本市職員の給与についても国に準じ、所要の改定を行いました。また、これに合わせ、市議会議員、市特別職の期末手当についても改定しました。その他、国県支出金の確定や、特別な理由により緊急に対応する必要があるもの等についての措置、事業費の確定等による予算の整理により、総額から3億1,455万7千円を減額しました。

## 補正予算に反対(一部抜粋)

市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例、沼田市特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例等の一部を改正する条例について、少子高齢化や人口減少社会を見据えた持続可能な行財政運営のため、改革を進めていかなければなりません。  
行財政改革にかける思いは皆同じだと思えます。みずから身を切る改革の決断と実行に期待します。

## 常任委員会

### 民生福祉常任委員会で請願2件を審査

3月15日、民生福祉常任委員会が開催され、請願2件を審査しました。

「若い人も高齢者も安心して暮らせる年金制度である全額国庫負担の最低保障年金制度創設を政府に求める請願」と「年金支給の隔月支給を毎月支給に改める請願」について、執行部からの説明を受け、慎重な審査を行った結果、国では高齢年金受給資格の変更による受給者の拡大など具体的な施策が進められていること、既に趣旨の意見書を提出していることなどをふまえ、共に趣旨採択すべきものと決定し、3月19日の本会議で趣旨採択と決定しました。

## 人事の同意

次の方々の選任に同意しました。

副市長

五十嵐 靖男(再任)

固定資産評価審査委員会委員

堀井 禎二(再任)

## 手話への理解を深める 手話言語条例を制定

長い間、手話は言語として認められず、ろう者は、多くの不便や不安を感じながら生活していましたが、障害者基本法などで、言語として位置づけられ、手話を利用しやすい環境を整えることが求められています。

障害者の権利に関する条約の採択及び障害者基本法の改正に伴い、沼田市は、手話が言語であるという認識に立ち、ろう者及び手話への理解を深め、全ての市民が支え合い共に生きる地域社会を実現するため、沼田市手話言語条例を制定しました。



手話言語条例制定を記念して議場で

## 空家等対策の推進に関する 条例を制定

空家等対策の推進に関する特別措置法の施行に伴い、本市における空家等の適切な管理と活用を図り、安全で安心なまちづくりに資するため、沼田市空家等対策の推進に関する条例を制定しました。

空家対策については、平成28年7月、庁内関係課による沼田市空家等対策推進会議が開催され、今後の空き家の抑制について連携、検討が進められました。

平成28年度には、区長による調査の結果、空き家が815戸、そのうち保安上危険と思われる空き家が65戸と取りまとめられました。調査結果をもとに、危険な空き家について建築技師による現地調査を実施。早急に対応しなくてはならない空き家2戸について関係者と話し合いが進められています。

また、空き家の取り壊しについては、一定の条件があります。取り壊す経費の一部を補助する空き家解体補助金が創設されています。

## 介護保険料見直し 基準額、保険料率を改定

介護保険料は、介護サービス等に要する見込みに基づいて、3年ごとに見直しを行うこととされています。

沼田市では、今後も、要支援・要介護認定者数の増加が見込まれ、今回の改正では、平成

30年度から実施される第7期介護保険事業計画に合わせ、介護保険料の基準額、保険料率を改定しました。

改定後は、介護保険料の基準額が年額6万5,100円から7万4,300円になり、所得段階区分が9段階から10段階になります。

### 第7期事業計画期間(平成30~32年度)の所得段階区分と保険料

所得段階	対象者 (第7期)	保険料率	年間保険料
第1段階	生活保護受給者、世帯全員が市民税非課税の老齢福祉年金受給者、世帯全員が市民税非課税かつ本人の課税年金収入額と合計所得金額の合算額が80万円以下の人	基準額×0.45	33,400円
第2段階	世帯全員が市民税非課税で、本人の課税年金収入額と合計所得金額の合算額が120万円以下の人	基準額×0.7	52,000円
第3段階	世帯全員が市民税非課税で、上記に該当しない人	基準額×0.75	55,700円
第4段階	本人が市民税非課税かつ同一世帯内に市民税課税者がいる人で、本人の課税年金収入額と合計所得金額の合算額が80万円以下の人	基準額×0.9	66,800円
第5段階	本人が市民税非課税で、同一世帯内に市民税課税者がいる人	基準額	74,300円
第6段階	本人が市民税課税で、合計所得金額が120万円未満の人	基準額×1.2	89,100円
第7段階	本人が市民税課税で、合計所得金額が120万円以上200万円未満の人	基準額×1.3	96,500円
第8段階	本人が市民税課税で、合計所得金額が200万円以上300万円未満の人	基準額×1.5	111,400円
第9段階	本人が市民税課税で、合計所得金額が300万円以上400万円未満の人	基準額×1.7	126,300円
第10段階	本人が市民税課税で、合計所得金額が400万円以上の人	基準額×1.9	141,100円

# 平成30年度予算が決定!!

## 明日の沼田をつくる元気みらい創造予算

**一般会計 260億617万6千円** 前年度比 **10.4%増**

### 予算審査特別委員会

予算審査特別委員会で行われた、主な質疑について、概要を掲載します。

(☆新規事業、★継続事業)

#### ★庁舎等複合施設整備事業

#### Q事業内容について

**A** 複合施設として活用するため、整備改修工事を進めており、内装及び外装改修や電気・機械設備等の工事を行う予定です。

この他、建物を管理するための警備機器や什器類、電話設備等の設置、庁舎ネットワークシステムの整備、わかりやすいサインの配置、平面駐車場整備に向けての不動産鑑定、商業テナントに対する補助金などです。

#### ★交通安全対策管理費

#### Q高齢者運転免許自主返納支援事業の内容について

**A** 高齢者の交通事故防止対策のひとつとして、沼田交通センターの窓口で運転免許証を自主返納した市民に、運転経歴証明書の発行を申請した場合に発行手数料全額を支援し、関越交通が発行するバスカード2枚を交付します。

#### ☆乗合バス再編事業

#### Q事業内容について

**A** テラス沼田のオープンにより、中心市街地の人の流れが大きく変化することが予想されるため、路線バスの運行経路を、より利用しやすく、かつ持続可能なテラス沼田へのアクセス向上に主眼を置いた路線構築を目指します。

#### ☆スマートウエルネス推進事業

#### Q事業内容について

**A** 市民に活動量計を身につけてもらい、活動量をデータ化、カルテとして見える化をします。データに基づいた健康相談として生活習慣病予防などにつなげ、健康寿命の延伸を進めていく取り組みです。ウォーキングや健診受診、健康教室等への参加に対してポイント制度を導入し、健康づくりの意欲向上や検診率の向上を図る考えです。

#### ☆不育症治療費助成事業

#### Q事業内容について

**A** 不育症は、妊娠できるにもかかわらず胎児が育たず、流産や早産、新生児死亡を繰り返す状態です。治療費の一部を助成することで、経済的負担を軽減し

### 予算に反対 (一部抜粋)

職場により格差はあるものの忙しい職場の労働は強化され、残業も増え職場環境の悪化が懸念されるなかで、これ以上の職員の削減は中止すべきです。また、削減した職員の穴埋めとして、臨時職などの非正規職員を補充している結果、非正規職員が約4割になるなど、ワーキングプアを行政自らが生み出す傾向もみられます。人員削減の行革は転換し、必要な業務での人員は正職員で運営すべきです。

### 予算に賛成 (一部抜粋)

本市においても少子高齢化や人口減少などの状況は厳しいものがあります。

このような中、沼田市の将来を見据え、長期的な視点に立ち、様々な地域の課題や市民のニーズを的確に捉え、誰もが安心して暮らすことができる沼田市の実現を目指し、市長自らのリーダーシップを発揮していただき、職員と一丸となって取り組んでいただくことを強く望みます。

ます。助成は、本人負担額の2分の1に相当する額で、申請1回につき20万円を上限とし、年度に1回、通算で5回まで支援します。

★市道国立病院下原線交差点改良事業

Q事業内容について

A市道国立病院下原線は、交通量の多い路線ですが、変則的な交差点形状で、交通渋滞や事故を招いています。交差点改良で、道路利用者の安全性の確保や利便性の向上を図ります。

☆海外販路促進事業

Q事業内容について

A本市の特産品や農産品等の海外に向けた販路開拓を進める市内事業者を支援するため、推進協議会を発足、海外販路拡大を目指すための事業を実施します。

☆給食センター整備事業

Q事業内容と新たな給食センターの特徴は。

A実施設計業務委託及び給食センター水道水配水のための配水管設計業務委託、並びに旧利根西小学校校舎及び屋内運動場等の学校施設の解体撤去を行ういたと考えています。

新たな給食センターの特徴は、利根沼田産のお米を使用した美味しいご飯を提供できる施設整備を考えており、炊飯施設に、災害時の炊き出しに対応できる機能の付加を検討しています。

★事前合宿推進事業

Q事業内容について

Aドイツフエンシングチーム及び練習相手となる日本選手の受け入れ、合宿期間中に練習会場の公開や選手との交流会等を考えています。

★(仮称)利南運動広場整備事業

Q完成後の管理について、どのような検討を行うのか。

A指定管理者制度を視野に入れて検討したいと考えています。



(仮称) 利南運動広場 完成予想図

合併特例債借入額はいくら？返済計画は？

◆合併特例債とは？

元利償還金の7割がのちに国からの地方交付税に算入される有利な起債（市の借金）です。

◆借入金はいくら？

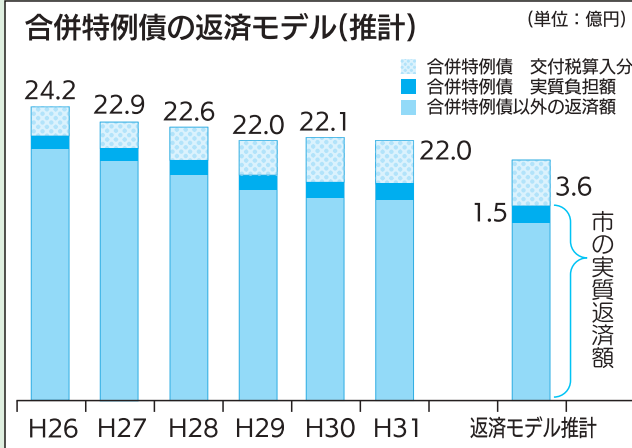
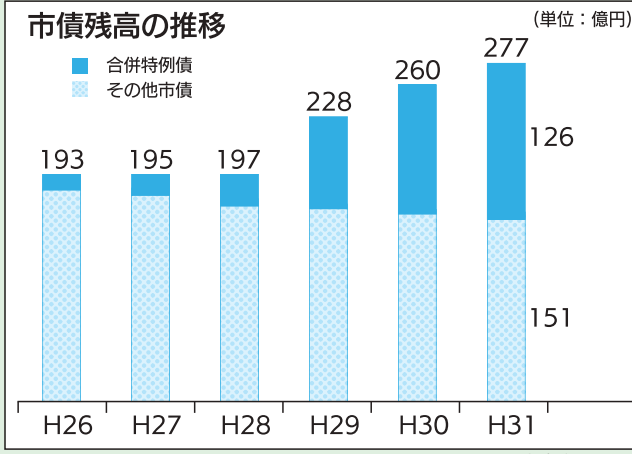
市では、平成27年度から平成31年度までの5年間で約120億円の合併特例債を活用する予定です。

平成31年度末の借入金はその他の借入金と合計して約277億円となる予定です。

◆これからの返済は？

市財政課の推計では、合併特例債による市の実質的な負担は、約36億円に返済利子を足した額となります。

合併特例債の返済額、年平均約1億2千万円を、その他の借入金の返済額と合わせ、今後30年間にわたり返済することになります。



## 一般質問

## 沼田市観光基本計画について

桑原 敏彦

【Q】かるたを活用した観光施策について伺います。

【A】群馬県は「かるた」が大変盛んな地域です。その代表格である「上毛かるた」においては、ゆかりの地を周遊してスタンプを集めるスマートフォン用のアプリもあり、周遊観光素材として活用されていますので、これらも参考にしながら、「かるた」を活用した観光施策について、研究したいと考えています。

【Q】市民参加による参加体験型観光需要の拡大について伺います。

【A】本市は、豊かな自然が育む野菜やフルーツなど、観光農業を営む資源に恵まれており、沼田市田舎体験ツアーでは、市民団体の協力のもと、首都圏在住者などを対象に四季を通じた農業体験メニューを実施しています。今後も、更なる産学官の連携強化を図るとともに、近年増加傾向にある参加体験型観光の需要拡大、交流人口の増加に努めたいと考えています。



薄根地区かるた

【Q】インバウンド等における農泊推進の現状について伺います。

【A】2020年東京オリンピック・パラリンピックを控え、インバウンドの推進は大変重要な施策であり、議員のおっしゃるとおり、国も農山漁村滞在型旅行の推進に対して積極的な補助事業を展開しています。利根沼田広域での連携も視野に入れながら、農泊推進について、研究したいと考えています。

## 市民との共創・協働によるまちづくりを！

中村 浩二

【Q】相互に支え合う地域力の向上にどのように取り組むのか伺います。

【A】3つの基本施策を掲げており、「情報公開と市民参加」、「市民協働の推進」、「地域コミュニティへの支援」などの施策を推進し、取り組んでいきたいと考えています。

【Q】障害者のスポーツ環境の整備や競技会への参加の支援について、どのように取り組むのか教育長に伺います。

【A】環境の整備では施設のバリアフリー化や車椅子で利用可能なスロープ等の設置など、また競技会への参加の支援では、市長部局と情報交換等を行い、連携を図りながら、対応に努めたいと考えています。

【Q】小中学校施設のトイレの洋式化への取り組み状況について教育長に伺います。

【A】市内小・中学校20校のトイレの全便器数は平成30年1月現在で、794個であり、そのうち洋

便器数は329個で洋式化率41・4%です。今後も校舎等の耐震改修に併せてトイレの洋式化を進め、教育環境の改善に努めたいと考えています。

【Q】市職員の定員の適正化について、どのように取り組むのか伺います。

【A】長期的な視点に立った計画的な職員採用、優遇退職制度の推進、事務事業の見直し、民間委託等の推進などにより、定員の適正化に努めていきます。



改修工事に着手した市民体育館

# 市政を問う!!

## 横山市政4年間を振り返って

久保 健二

**Q**この4年間、合併後の一体感醸成に向けてどのような取り組みを行ってきたか伺います。

**A**平成17年の合併以降、全市民的な取り組みの中で一体感の醸成を図ってきました。具体的には、合併10周年事業の開催、市民構想会議の設置、地域おこし協力隊・集落支援員の設置や利根小学校建築などを行い、次年度以降は旧利根西小学校跡地に統合給食センターを建築する予定です。今後も各地域の特性を生かしつつ、更なる一体感の醸成に努めたいと考えています。

**Q**経済戦略について、四川省成都市訪問の概要を伺います。

**A**今回の視察は、本市の特産品等について、発展著しい中国成都市を訪問し、中国市場でのインターネット通販サイトを活用した越境ECによる販路拡大やインバウンド観光客向けの事業展開の可能性を探ることを目的に実施しました。また、中国市場における消費需要や供給側

求められる商品価値や販売手段などについて、現地の流通、観光経済の専門家のご意見を伺い、意見交換を行いました。

**Q**2020新学習指導要領のプログラミング教育スタートに向けての課題と対応を教育長に伺います。

**A**国から考え方などは示されていますが、現状では具体的な資料は示されておらず、授業そのもののイメージをもつのが難しい状況にあります。各学校への情報提供に努めるとともに、研修講座などへの参加を促し、教員のスキルを向上していけるように対応したいと考えています。  
※その他の質問  
昭和の合併後の財産管理についてなど

### ◎用語解説

**越境ECとは…**  
国境を越えて通信販売を行うオンラインショップのこと

## ブランド力と交流による元気創生のまちづくり

茂木 清七

**Q**販路開拓支援事業の展示会や商談会などの参加者の実績と今後の展開について伺います。

**A**「沼田市中心小企業自社製品等販路開拓支援事業補助金」を交付しており、出店企業5社、出店回数8回、商談成立件数3件、見積依頼等19件となっております。効果的なPRの方法等の研修会を積極的に行いたいと考えています。

**Q**日本の人口減少に伴い、農産物や物産品等を世界に発信していかねければと考えます。市長はその状況をいち早く検証し中国に行きましたが、その成果と今後の課題について伺います。

**A**中国の成都イトーヨーカドーの幹部と話し、今後は中国の輸入規制解除に向け、他の地域に先駆けて販路拡大に向けて取り組みたいと考えています。

**Q**タイ・台湾との交流と今後の展開について伺います。

**A**タイ国クロントム郡と締結した「MOU」(了解覚書)の内容

ですが

- 1、温泉を活用した健康づくり
- 2、両地域の文化について
- 3、相互の観光資源の紹介等協力を行うもので、覚書の有効期限は3年間となっております。

**Q**適正な可燃ごみの処理と最終処分場の今後の計画について伺います。

**A**沼田市外二箇村清掃施設組合の清掃工場の耐用年数が12年です、また最終処分場の新設は難しい状況にあります。今後、群馬県一般廃棄物処理広域化マスタープランを含め、協議、検討していきたいと考えています。



タイ国クロントム郡とMOUを締結

## 一般質問

## 歴史や伝統を活かした街なか再生

野村 洋一

Q 中心市街地への滞在プログラムの充実と、真田氏、土岐氏の歴史文化資源等の整備へ向けた考え方について伺います。

A 歴史文化資源の活用と整備は、観光振興における地域の魅力向上の要素として欠かすことのできないものです。中心市街地においては、生方記念文庫や旧沼田貯蓄銀行が整備され、今後は、旧土岐邸洋館や旧日本基督教団沼田教会記念会堂の移築復原も予定していますので、これらの歴史文化資源が集積した中心市街地エリアと情報発信の中心をなす沼田公園エリアを回遊できる観光滞在プログラムの充実を図れるよう、両エリアを都市観光の拠点として各種整備を進めたいと考えています。

Q 沼田市での滞在時間を増やすために市内に存在する史実などのストーリー化が必要と考えます。沼田市に散在しているものを活用する具体的なイメージについて伺います。



勝軍地蔵雨宝殿(市指定重要文化財)

A 東禅寺の勝軍地蔵は歴史の由緒があり、1584年、長久手の戦いで、土岐定政に家康が命じて愛宕尊に祈願させたところに石像があり、愛宕尊の化身であるということ、定政にそれ以降出陣の折に背負わせたという云われがあります。1742年、土岐頼楯が沼田の藩主になったときに、沼田に持ってきて、代々祭祀していたという云われがあり、それらを上手く活用できれば観光の目玉にはなるかと思っています。

## ※その他の質問

これからの住生活支援、今後の生活道路の整備の在り方など

## 本市における乳がんチェックシートの導入

星野 妙子

Q 乳がんは、12人に1人が罹患し、年間7万4千人の女性が告知を受けています。定期的な乳房を調べる自己検診は有効で、自分で発見できる唯一のがんが乳がんです。検診を促す対策として、乳がん検診自己チェックシートの導入について伺います。

A 早期発見につながるがん検診や日常のセルフチェックも重要と考えています。乳がん検診無料クーポン送付時にセルフチェックのパンフレットを同封すると共に、ホームページにチェック方法を掲載し、乳がん検診対策の普及啓発に努めます。

ー 予算の基本方針についてー

Q 平成30年度予算大綱「明日の沼田をつくる元気みらい創造予算」を集大成とした考えについて伺います。

A 平成30年度には、庁舎等複合施設整備、(仮称)利南運動広場整備、土岐邸の街なか移転等がほぼ完了し、給食センター整備

も始まることから集大成としました。

ー 保育料についてー

Q 平成30年度からの市立の保育料値上げは子育て世代支援に逆行し見直すべきです。人口減少・少子化対策から、国の方針で無料化される平成32年までの期間は、公的に補填すべきと思いますが、考えを伺います。

A 保育料は保護者の所得に応じた応能負担が基本です。公私立統一の保育料の考え方から、平成30年度から実施します。一部の階層で保育料が上がりますが、新たに「預かり保育」を実施するなど、利用者の利便性の向上と保育の充実にも努めます。



乳がんセルフチェックパンフレット



# 市政を問う!!

## 市長としての2期目のグラウンドデザインは？

高柳 勝巳

Q「協働のまちづくり」に着目した企業等との連携について伺います。

A協働のまちづくりを充実・拡大させていくには、ボランティアを基本とした取り組みでは限界があり、今後、企業等と連携した活動が必要と考えています。

Q「身の丈にあった行政運営」を目指した公共施設の管理運営をPFI等の積極的導入について伺います。

A公共施設の管理に関する、具体的な考え方として公民連携を掲げています。

今後は、PFIや包括管理委託なども含め、趣旨・目的に合った手法を選択することにより、施設の適切な管理運営に努めていく考えです。

Q「ブランド力と交流による元気創生のまちづくり」を目指し六次産業化推進による食育政策の充実・拡大について伺います。

A平成26年から本市の高品質な農産物及び規格外農産物を有効

活用した商品開発を行うとともに、販売、販路開拓、情報発信等の事業を行ってきています。

Q本年公表された部活動に関する新総合ガイドラインへの対応について教育長に伺います。

A国や県に準じて、適正な部活動運営に向けた方針を策定し、新年度より、平日1日と土・日のいずれか1日の、週2日以上

の休養日を設定することや、各中学校ごとに、部活動の運営方針等を策定するなどを規定し、各中学校に対して、指導していきたいと考えています。



協働によるまちづくり事業報告会

## 行政改革と期末手当の引き上げ、高校再編整備

金子 浩隆

Q沼田市政過去最大の新年度予算。人口が減少し、歳入が落ち込み、厳しい財政状況の中、身の丈以上の歳出を補うため、駆け込み合併特例債の市債39・5%

増と財政調整基金9億の取り崩しで帳尻を合わせる。いわば借金と貯金の取り崩しで「未来に夢を」持つのですか。

A安定した雇用や新しい人の流れの創出などにより人口減少に歯止めをかけ、歳入の減少を最小限にし、市資産を総体的に見直し、市公共施設に係るランニングコストを削減すること等で、歳入・歳出のバランスのとれた財政運営を図っていきます。

Q市長や地方議員は国の人事院勧告とは無縁なのではないでしょうか。トップ自ら「身を切る改革」を決断し、先頭に立って行財政改革を進める姿勢を示すべきではないでしょうか。

A平成29年の人事院勧告や国家公務員一般職の職員の給与に関する法律及び特別職の職員の給

与に関する法律の改正に伴い、支給率の改訂を遡及適用するものです。

Q深刻な人口減少、激しい少子化が現実となり、利根沼田の高校の適正規模がすでに維持できなくなっています。市長は利根沼田の高校再編整備について、「地元から再編について意見が出た場合は再度議論する」という県教育委員会との約束についてどのように考えていますか。

A適正規模の維持が見込まれない場合には、県教育委員会において高校再編の動きが出てくるものと考えています。



沼田高校校舎

## 一般質問

## 施政方針、子育て支援、道徳教育について

大東 宣之

【Q】市政の課題と新年度における重点施策など、どのような取り組みをすすめるのか伺います。

【A】予算大綱に示した6項目を重点施策として、市民との連携・協働の下、一こころ豊かに暮らし、しあわせを実感できるまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。

【Q】市民の暮らしを支える施策をどのようにすすめるのか伺います。

【A】日々の暮らしに豊かさを実感し、まちに対する誇りや愛着を育てるまちの実現に向けて、子どもから高齢者まですべての市民が生涯にわたり健康で、生きがいを感じながら幸せに暮らせるように、市民に寄り添ったきめ細かい事業を展開していきたいと考えています。

【Q】保育料の無料化拡充についてどのように考えているのか伺います。

【A】今後も国の動向に合わせ、保育料の段階的な軽減の検討など、



引き続き、支援の充実に取り組みんでいきたいと考えています。

【Q】道徳の教科化によってどのような人間像をめざすのか教育長に伺います。

【A】子ども達一人一人が、人間として自分らしい生き方について考えられるようになることや、自らの幸せとよりよい社会をみんなで作っていくことができることを目指して、道徳の教科化を充実させていくことが、重要であると考えています。

## 訪問型家庭教育支援で家庭教育の充実を

井上 弘

【Q】沼田市の家庭教育支援の取り組みについて教育長に伺います。

【A】小中学校PTA連合会、青少年育成連絡協議会などの各種団体と連携を図りながら家庭教育支援を推進するとともに、学校・地域と連携した事業、家庭教育力ウンセリング講座を実施し、家庭教育支援に取り組んでおり、今後も、学校、地域住民、各団体と連携を図り、各家庭の自主性を尊重しつつ、地域の実情に沿った家庭教育支援に取り組みたいと考えています。

【Q】地域資源を活用し、様々な支援を包括的に行っていくために、家庭教育支援チームによる訪問型家庭教育支援についての教育長の考えを伺います。

【A】ライフスタイルの多様化により、子育てに不安や問題を抱える家庭が増加しているとの報告もあり、市長部局と連携を図り、情報の収集・提供に努め、不安や問題を抱える家庭の支援を推進しています。家庭教育支援チームによる訪問型家庭教育支援は、県や関係部署、各種団体と連携し、地域の実情に沿った支援のあり方について研究したいと考えています。

一定住自立権構想について

【Q】既に定住自立圏構想について検討されているということですが、現在の推進状況と今後のスケジュールについて伺います。

【A】昨年5月に、県地域政策課の職員を講師に招き、部課長を対象に説明会を開催。8月に、利根沼田5市町村の総務課長及び企画担当課による勉強会を開催、検討を行うこととなりました。

※その他の質問  
公共施設の相互利用など



# 市政を問う!!

## かけがえのない市民の命と環境を守るために

井之川 博幸

**Q** かけがえのない沼田市の住民の命と自然・環境を守るため、「核兵器禁止条約」が国連で採択され関係者がノーベル賞を受賞したこと及びそれに反して北朝鮮やアメリカの核競争の危険が迫っている状況についての見解を伺います。

**A** 本市は全国の非核平和宣言都市とともに、平和活動の推進に努めています。北朝鮮の核開発問題につきましては、一首长として大変憂慮しています。

**Q** 原発再稼働への反対と原発の廃止についての見解を伺います。

**A** 原子力発電のメリット、デメリットもありますので、国の動向を引き続き注視したいと考えています。

**Q** 再生可能エネルギーを活用したまちづくりについて、公共施設への再生可能エネルギー活用の現状と拡充について伺います。

**A** 平成28年度に沼田市再生可能エネルギー導入方針を策定し、新たな施設の整備や改修に際し、

積極的に再生可能エネルギーを導入する方針を示しています。

**Q** 飼い主のいない猫との共生について、地域猫活動の取り組みが必要ではないでしょうか。

**A** 県動物愛護センターとも連携して研究したいと考えています。  
**Q** 不妊・去勢などに対する助成について伺います。

**A** 地域猫の普及のため、県が「群馬県飼い主のいない猫対策支援事業」で地域猫の取り組みに対する支援を開始しました。

県が指定する動物病院での不妊・去勢手術などをを行うもので、窓口である県動物愛護センターとも連携して、事業の周知を図りたいと考えています。



### 平成30年第1回市議会3月定例会賛否状況

(賛否の分かれた議案及び請願のみ掲載)

種別	番号	議案等名	結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
				林清史	永井敏博	桑原敏彦	茂木清七	中村浩二	坂庭直治	星野妙子	金子浩隆	井上勝弘	高柳勝巳	高山敏也	野村洋一	久保健二	小野要二	大東宣之	井之川博幸	大島崇行	大竹政雄	星野稔	星野佐善太
議案	第15号	沼田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第16号	沼田市特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第18号	平成29年度沼田市一般会計補正予算(第5号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第31号	沼田市介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	第32号	平成30年度沼田市一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	第33号	平成30年度沼田市国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	第34号	平成30年度沼田市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	第35号	平成30年度沼田市介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	第36号	平成30年度沼田市簡易水道事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	第37号	平成30年度沼田市下水道事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
第38号	平成30年度沼田市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	
第40号	平成30年度沼田市水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	
請願	第1号	若い人も高齢者も安心できる年金制度である全額国庫負担の最低保障年金制度創設を政府に求める請願	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第2号	年金支給の隔月支給を毎月支給に改める請願	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■各記号の見方 ○…賛成の者、×…賛成でない者

# 行政調査

## 報告書

沼田市議会では、毎年、委員会ごとに先進自治体の行政調査を実施しています。  
今回は、民生福祉常任委員会の概要を掲載します。

### 民生福祉常任委員会

平成29年11月8日に、前橋市総合福祉会館にある社会福祉法人すてつぷ「とらっば」と埼玉県和光市、平成30年2月2日に東吾妻町、中之条町を調査しました。

社会福祉法人すてつぷ「とらっば」では、テラス沼田へ福祉カフェの移転が予定されていることから、福祉カフェ（カフェ）



前橋市で障害者福祉について調査

らっば」の運営と障害者雇用対策など、**障害者福祉対策**の視点で調査。ハローワークなどと協力した就労支援や、会館内の自動販売機管理による収益で安定経営を図っていました。

埼玉県和光市では、国内でも先進的な取り組みをしている**地域包括ケアシステム**について、地域課題を掘り起こすための地域ケア会議や、介護保険・高齢福祉対策以外にも子育てや自立支援にまで拡充した取り組みについて調査。全戸への徹底したニーズ調査や地域ケア会議による縦割り解消で、課題の見える化、適切なサービス実施を図り、介護保険料の値下げがされました。

東吾妻町では、**再生可能エネルギーの活用**について、PFI事業の箱島湧水発電を調査。施設建設・運営を事業者が行い、発電施設は町に無償譲渡、施設



中之条町で活動量計を活用した健康づくりについて調査

使用料1,200万円が町に支払われていました。

中之条町では、今後のスマートウェルネスをめぐる実践に向けて、中之条研究として全国的に注目されている**活動量計を活用した健康づくり**などについて調査。指導方法などの説明を受けたほか、ウォーキングによる医療費削減効果などが具体的に確認されていました。

### 平成30年 第2回定例会の日程

平成30年第2回定例会は、6月8日(金)からの予定です。ぜひ傍聴にお越しくください。

### 編集後記

市議会だよりリニューアル！  
新年度が始まりました。平成30年度は過去最大の大型予算となりましたが、ハード面、ソフト面ともに大きな変化が目に見える一年になりました。

一方、議会だよりも今号から一新しました。先進市を参考にしながらデザインやレイアウト、情報量などを議論し、経費を抑えるよう工夫もしました。今後も内容を充実させて、市民皆様に愛されるものになるよう、編集委員一同頑張ってください。これを通じて市政に興味を持って頂ければ幸いです。

編集委員 久保 健一

### 追悼

3月23日、林清史議員がご逝去されました。  
これまでのご活躍に敬意を表しますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

沼田市議会議員一同